

平成29年 第7回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成29年7月20日(木) 午後2時00分～午後3時55分

2. 場 所 総合教育センター 2階 研修室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	川畑 徹朗
教育委員	江原 礼子	教育委員	川崎 かおり

<事務局>

教育次長	二宮 叔枝	総合教育センター主幹	尾崎 眞弓
学校教育部長	村上 順一	保健体育課長	増田 健一
生涯学習部長	山中 茂	小学校給食センター所長	鴨川 憲之
教育長付参事	柳田 尊正	中学校給食センター所長	長澤 利文
学校教育部参事	佐藤 幸宏	スポーツ振興課長	梅本 智也
生涯学習部参事	綾野 昌幸	公民館長	池田 真美
総合教育センター所長	後藤 猛虎	博物館長	亀田 浩
人権教育室長	佐藤 文裕	人権教育担当主幹	森口 真一
職員課長	植松 俊二	少年愛護センター所長	河崎 信良
施設課長	宮木 哲男	教育総務課長	池田 昌弘
教育企画課長	矢田 貴美代	教育総務課主査	高田 幸美
学校指導課長	廣重 久美子	教育総務課	寺内 みこ
学事課長	大村 寿一		

4. 欠席者 教育委員 秋田 久子

5. 傍聴人 12人

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長(午後2時00分)

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 3 議案第53号の審議

日程第 4 議案第54号の審議

日程第 1 平成29年第6回定例会会議録及び平成29年第5回臨時会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

- 日程第 5 議案第 5 1 号の審議
- 日程第 6 議案第 5 2 号の審議
- 日程第 7 議案第 5 5 号の審議

木下教育長より「日程第 5 及び日程第 6 の議案については個人情報を含むため、日程第 7 の議案については意思形成過程における案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 7 項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 5 から日程第 7 の議案は非公開の秘密会となる。

### (3) 議案第 5 3 号の審議（日程第 3）

木下教育長より「議案第 5 3 号 平成 3 0 年度使用伊丹市立伊丹高等学校教科用図書の採択について」を議題とする旨の発議の後、「平成 3 0 年度、伊丹市立伊丹高等学校において使用する教科用図書を採択しようとするものです。」との説明がなされ、学校教育部長から補足説明をした後、選定委員会の中井委員長から調査結果について参考意見が述べられ、次いで質疑応答の後、全委員一致で「議案第 5 3 号」を原案のとおり可決。

#### ◎調査研究の方針

「平成 3 0 年度使用伊丹市立学校教科用図書の採択方針」に基づき、中立的な立場で調査研究を行い、答申することとした。

#### ◎選定方針

- ①学習指導要領の趣旨に従い、伊丹市立伊丹高等学校における興味・関心、意欲、適性、能力等を十分考慮し、教育課程実施上最適であるものを選定する。
- ②各教科ごとに教科書の記述内容の研究・調査を実施し、さらに地域社会等を考慮し、総合的見地から選定する。
- ③各教科から推薦のあった教科書を、伊丹市立伊丹高等学校の教科用図書選定委員会において再検討を加え、公正を期す。

#### ◎答申の内容

第 1 学年の理科、英語、情報、の 3 教科、第 2 学年の国語、数学、理科、芸術、外国語、商業の 6 教科、第 3 学年の地理歴史、公民、理科、外国語、家庭の 5 教科について採択替えを行い、その他の教科については現行の教科書を継続使用したいとの説明がなされた。

## 質疑応答

江原委員

2点質問させていただく。まず、先ほど中井委員長から説明いただく中で、今回の選定にあたっては市立伊丹高校の生徒の学力や実態を踏まえて選定されたということについて感謝申し上げる。加えて、生徒の実態について具体的に教えていただけたら有難い。

また、社会が急激に変化する中、高等学校のみならず小・中学校においても主体的、対話的で深い学びを授業の中に取り入れて、より深い思考や理解を目指す授業改革が望まれているところである。そういった取組について、学校での取組をこの機会に教えていただけたらと思う。

中井委員長

学力の変化については、大きなものとして兵庫県内における学区改編が挙げられる。学区改編により、広い範囲から生徒が希望する学校に入りやすい仕組みに変わってきたと思う。このことが影響してか、ここ2、3年を契機に入学してくる生徒の学力が少し高くなってきたと感じている。また、進路についても大学への進学率が上がり、難易度の高い大学を目指す生徒も増えてきている。もちろん大学入試だけを目標にしているわけではないので、生徒の多様な進路希望に応えられるような視点が教科書の調査に入ってきたものと理解している。

対話的で深い学びを実現するための取組としては、教科書だけでそれが叶うものではなく、近年は教科書にも色々な工夫がされていると感じている。例えば、ICTとの接続が考えられていたり、インターネット上に動画が用意されているようなものも出てきている。そういったことは、新しい学力に対応していくためのツールとして、調査の視点に入っているかもしれない。ICTについては、教育委員会の理解もあり、タブレット型パソコンを40台以上整備させていただいた。そういったものを上手く活用しながら、多面的で能動的な学習ができるような工夫をしているところである。教科書の選定にあたっては、ICTの活用という視点も今後考えていきたいと考えている。

江原委員

ありがとうございます。

先日開催された高等学校の合同説明会に出席させていただいて、先生方のご尽力で成果を上げられて、非常に元気な姿を見ることができた。生徒たちが社会に出る一歩手前の高等学校において、こういった取組を進めてくださることは、小・中学校にも非常にいい影響を与えると思う。今後ともよろし

くお願いしたい。

川 畑 委 員 生徒たちの学力が向上していることから難易度の高い教科書を選定したという部分について、少し具体的に教えていただきたい。

中井委員長 特に理数系科目についてそのような傾向が見られる。継続使用の教科書もあり、また、複数のターゲットを持った教科書もあるため、どれがということとは難しいが、多様性のある教科書という意味で数学等が該当すると理解している。

川 崎 委 員 選定委員にPTAの方が入っていると思うが、どのようなご意見が出たか。

中井委員長 PTAからは1名入っていただき、全ての教科書を手にとって見ていただいた。ご自身の学生の頃と比べて、図表や写真が多く分かりやすいといった感想や、今の子どもたちはこういう形で理解を深めているのかといった感想を持たれていた。

木下教育長 社会の動きの中にAI（artificial intelligence：人工知能）やIOT（Internet of Things：モノのインターネット）の進展があり、IT人材のニーズが高まっているが、そういった社会のニーズに合わせたプログラミング教育の視点は今回の選定に取り入れられたのかお聞きしたい。

中井委員長 本校では商業科に関係の深い話かと思う。商業科の中でも、教科である商業に特化した情報処理があり、部分的に取り組んでいると理解している。ご指摘いただいたことについて、学校に持ち帰り、新たな教育の視点として教員に伝えていきたいと思う。

木下教育長 ありがとうございます。小・中学校の場合は、新しい学習指導要領が3月に告示された。道徳の教科化や英語教育の充実、プログラミング教育等が盛り込まれている。高等学校は次年度だと思うので、次の教科書選定に際しては考慮いただけたらと思う。

#### （4）議案第54号の審議（日程第4）

木下教育長より「議案第54号 平成30年度使用伊丹市義務教育諸学校等教科用図書の採択について」を議題とする旨の発議の後、「平成30年度、小・中学校及び小・中学校の特別支援学級、特別支援学校において使用する教科用図書を採択しようとするものです。」との説明がなされ、学校教育部長から補足説明をした後、選定委員会の戸田委員長及び礒田委員から調査結果について参考意見が述べられ、次いで質疑応答の後、全委員一致で「議案第54号」を原案のとおり可決。

## ◎調査研究の方針

「平成30年度使用伊丹市立学校教科用図書の採択方針」に基づき、小学校教科用図書「特別な教科 道徳」については、綿密周到な調査研究を行い答申することとし、特別支援学級及び特別支援学校教科用図書（学校教育法附則第9条の規定による教科用図書）については、各学級・学校の実情に応じて調査研究を行い答申することとした。

## ◎平成30年度使用教科用図書調査研究の観点

- ①客観的に検討し、各教科用図書の特色を公平に記述すること。
- ②基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるような工夫があること。
- ③自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力を培う内容になっていること。
- ④児童生徒の生活体験や興味・関心に適応するとともに、多様な考え方や個人差に応じて活用できる幅があること。
- ⑤系統的発展が考慮されており、他の教科との関連がよく考えられていること。
- ⑥指導内容及び組織配列・分量が適切であること。
- ⑦男女共生の視点からみて適切であること。
- ⑧表現、さし絵、資料、取り扱う題材等が適切であること。
- ⑨新出文字、用語等の配置の工夫がなされ、文字の大きさ、行間及び書体が適切であること。

## ◎平成30年度使用学校教育法附則第9条による一般図書調査研究の観点

- ①系統的に編集されており、各教科の主たる教材として、各教科の目標達成に適したものであること。
- ②上学年で使用することになる教科書との関連性があること。
- ③児童生徒の障害の種類・程度・能力・特性に応じたふさわしい内容（文字、表現、挿絵、題材等）であること。
  - ア 知的機能に障害のある児童生徒にも理解しやすく、ねらいのはっきりした内容であること。
  - イ 集中力の乏しい児童生徒にも、理解しやすい文章や挿絵であること。
  - ウ 情緒に障害のある児童生徒が落ち着いて楽しめる構成、内容であること。
  - エ 肢体不自由の児童生徒が取り扱いやすく、かつ、破損しにくい紙質、判型、装丁であること。
  - オ 視力や視機能に障害のある児童生徒にとって、文字や絵の大きさ、行間の広さ、色彩などが認識しやすいものであること。
  - カ 聴覚に障害のある児童生徒が、視覚によって言語活動を促すために役立つ内容であること。

と。

- ④基本的な生活習慣が身につく内容であること。
- ⑤児童生徒の生活経験を広げ、興味・関心を喚起する内容であること。
- ⑥児童生徒の主体的な活動を促す内容であること。
- ⑦教科書無償給与予算の関係から、価格が妥当と考えられること。

#### ◎答申の内容

小学校教科用図書「特別の教科 道徳の教科書」について、上記の観点に基づき調査研究がされており、別紙に掲示された教科書につき、選定委員会所見として「廣濟堂あかつきの教科書を採択することがふさわしいと判断する。」との報告がされた。

次に、特別支援学級の教科書について、上記の観点に基づき調査研究がされており、別紙に掲示された教科書につき、選定委員会所見として、「特別支援学級に関する調査員会の調査研究結果が適切なものであると認め、平成30年度使用教科用図書として採択することがふさわしいと判断する。」との報告がされた。

さらに、特別支援学校の教科書について、上記の観点に基づき調査研究がされており、別紙に掲示された教科書につき、選定委員会所見として「特別支援学校（小学部、中学部、高等部）に関する調査員会の調査研究結果が適切なものであると認め、平成30年度使用教科用図書として採択することがふさわしいと判断する。」との報告がされた。

#### 質疑応答

江原委員 道徳の教科書について質問させていただく。事前に全て拝見し、どの教科書も子どもの発達段階に応じて作られ、現代的な課題や登場人物を取り上げたりするなど、子どもたちが自分との関わりを意識して考えを深めるような内容になっていると感じた。

さらに道徳を教科として考えたときに、自分を振り返って心が動いたことや学んだこと、自分の課題を見つけて、深めていくためには記録が必要になり、そういった意味でノートが重要だと考えている。このことについて、選定委員会で何か意見が出ていれば教えていただきたい。

戸田委員長 ノートについてはたくさん意見が出た。廣濟堂あかつきのノートは少し分厚いのではないかという意見もあった。しかし、やはり心の軌跡を子どもたちに書かせることが大事で、後で1年間の振り返りができるという点でよいのではないかという意見が出た。発行者毎に違いが見られるが、廣濟堂あかつきのノートは内容項目で分かれていて、自由記述ができるという点に特徴

がある。他の発行者のノートは質問が書いてあり、それに沿って授業ができるようになっていて、授業が進めやすいが書かれていることに縛られるのではないかという意見が出ていた。

江原委員　私も拝見する中で、子どもたちが多面的、多角的な考えをもって展開できることが大事だと考えた。そうすると、画一的にならないようにすることが重要だ。このことは先ほどの調査報告でも出ていたが、要は先生方の授業における活用次第だと思う。そういった意味で、各校で授業改善に取り組んでいただけたらということは今改めて感じている。ひいては、一人ひとりが大切にされる学級づくりが重要である。

川畑委員　各発行社の教科書がこれだけたくさんあって、どれがいいとかは言えないが、読んでいて胸が熱くなるような教材があり、自分がまだ人間らしい心を持っていて感じてほっとしている。それぞれを見ると、ほとんどの教科書でいじめに関する教材があったと思う。いじめが悪いという道徳的価値観は、教材を通じて育てることができるだろうと思うが、例えば実際にいじめを見たときに被害者を助けるとか、そういった道徳的実践力に結び付けるような工夫について説明いただけたらと思う。

戸田委員長　おっしゃるとおり、道徳の時間に学んだことが道徳的実践力に結び付くことが大切だと思っている。ただし、すぐにとというのは難しいので繰り返しが必要だと思っている。また、学んだことと日常生活とを結び付けることも大事だ。各発行社の教科書を見てみても、日常的なことを取り上げながら自分との関わりを考えさせるような教材がたくさんあった。さらに、単に考えてみよう、意見を述べようだけでなく、その場に立って考えられるような工夫も見られた。

木下教育長　今回の道徳の教科化については、背景にいじめ問題があると思う。授業でいじめはいけないことだと勉強しても、実際の生活の場面でいじめが起きてしまったら意味がない。いじめの防止に関して効果的でないといけない。私もそれぞれの教科書を見る中で、掲載されている教材は発達段階に応じたものとなっていることに感心した。選定委員会で、いじめに関する記述について、各発行者の特徴や工夫に関するご意見が出ていたら教えていただきたい。

戸田委員長　いじめについては選定委員会でも話題に出ていて、どの発行者も非常に力を入れていると感じた。特にどの教科書がということではないが、教育長がおっしゃったように公平公正ということだけでなく、よく読むといじめ問題に関わってくるような教材もたくさんある。江原委員がおっしゃったように

先生の教材を読む力、普段から子どもたちをどのように見ているか、なによりも学級の風土づくりというようなものと深いつながりがあるのではないかと考えている。

木下教育長       ありがとうございます。廣済堂あかつきの教科書に「ヒキガエルとロバ」という教材があって、心が動かされたので少し紹介させていただく。ある男の子がヒキガエルに石を当てていじめていると、痩せ細ったロバが通りかかる。そのまま進むとヒキガエルを踏んでしまうところだが、ロバは力を振り絞って、動く力のないヒキガエルを避ける。その様子を見ていた男の子は握っていた石を離すというもの。挿絵が非常に印象的で、子どもたちが命の大切さを考えるのにふさわしい教材だと思った。そこにノートが加わって、主人公の心の変化を尋ねる質問があり、さらに効果的だと感じた。

特別支援の教科書についても何かあればどうぞ。

江原委員       感謝を含めて感想を申し上げる。子どもたちの興味、関心を引くように繰り返しのリズムが入っていたり、ぱっと目に飛び込んでくるように視覚的な工夫がしてあったり、扱いやすいような材質であったり、非常に様々な観点から選定していただいて感謝する。また、これらの図書も、教科書として子どもたちの実態に応じた使い方がされるよう期待したい。

木下教育長       挿絵が美しく心が温かくなるものもある。絵を通して文章を読まなくても物語が感じられて、気持ちが温かくなって学ぼうという意欲が湧いてくるように思う。ありがとうございます。

#### (5) 平成29年第6回定例会会議録及び平成29年第5回臨時会会議録の承認（日程第1）

平成29年第6回伊丹市教育委員会定例会（平成29年6月22日〈木〉開催）及び第5回臨時会（平成29年7月13日〈木〉開催）会議録については、全委員一致でこれを了承。

#### (6) 教育長報告（日程第2）

管理部長より「7月分人事報告」・「6月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「6月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、幼児教育施策推進班長から幼児教育施策推進班の「6月分行事实施報告」・「8月分行事实施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員       5ページの学校指導課の6月行事实施報告について。27日（火）に



開催された第2回小・特別支援学校道徳教育担当者会において、道徳の教科化に向けて研修会等を計画されていると思うので教えていただきたい。

廣重課長 江原委員ご案内のとおり、道徳については来年度から小学校において教科化される。昨年度から準備を進めているところであるが、特に現場で戸惑いが大きいのは評価の部分である。文部科学省から6月に出された評価に関する解説書を基に、現在評価の記述のあり方について検討を進めているところである。

道徳教育については、昨年度から豊かな関わりを通してともによりよい生き方を求める子どもの育成について検討しており、特に全国学力・学習状況調査等の結果からも、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動を取り入れることが必要だと感じている。考える道徳、議論する道徳の実現に向けて教材を実際に見ながら研究を進めているところである。

江原委員 ありがとうございます。本市では、中学校ブロックで道徳教育の研究指定をしていたかと思う。指定を受けた学校の校長先生からは、学校指導課長がお話しされたように評価が大きな課題であるということを知っている。そういったことから、担当者会で議論された内容が各学校へ上手く伝達できるようお願いしたいと思う。

川畑委員 16-4ページの6月度土曜学習実施状況について。池尻小学校と西中学校、笹原中学校は今年度に入って1回も開催されていないが、例年1学期は開催されないということか。

山中部長 3校のうち1校は7月中に実施していると報告を受けている。残りの2校は9月から開催すると聞いているが、例年の状況については、今手元に資料を持っていないのでお答えできない。

川崎委員 11ページの学校指導課の8月行事実施予定について。18日（金）に開催予定の第3回伊丹市教育支援委員会のテーマが決まっていれば教えていただきたい。

廣重課長 教育支援委員会は、年間10回実施しており、次年度の新1年生を中心によりよい進学先を考えるため、協議を行うものである。8月は中学校の新1年生について、各学校から提出された教育相談票を基に専門の委員の方に協議いただいて、具申内容を固めていく予定にしている。

江原委員 7-2、7-3ページの初任者訪問指導報告について。大勢いる初任

者に対して訪問指導していただき感謝申し上げます。私も訪問指導にご一緒させていただいた学校もあるが、非常にしっかり授業されている様子を見て、先輩の先生方の支援を感じたところである。事務局で今回の訪問指導を振り返って、初任者の状況等何かあれば教えていただきたい。

尾崎主幹 江原教育委員には11校の初任者訪問指導に同行いただき、本当にありがとうございます。今年度は47人の初任者がおり、うち1人が事務職員のため、46人が初任者訪問指導の対象である。様子を見ている中で、心身的な問題や授業力、同僚の関係においても特に大きな心配のある教員はいなかったと思っている。もちろん、授業力や指導力の面では経験不足や未熟なところがあるので、これからさらに力を付けていていただきたいと思っているが、どの先生もよく頑張っていると思っている。今後も継続して支援していきたいと思っている。

川崎委員 4ページの教育企画課の6月行事実施報告について。24日（土）に公民館で開催された第3回あつまれ！いたみキッズ！！に参加させていただいた。公立幼稚園の先生方がとてもチームワークがよく未就園児の親子の方が500名以上来られてとても楽しそうな様子が見られたので感謝申し上げます。また、会場では現場の声を聞くことができた。幼児教育の変革については期待の声も聞かれる中、課題についても色々聞かれたので、まずは先生の働きやすい環境づくりが重要だと感じ、重点的に取り組むべきだと思った。

山中部長 土曜学習の実施状況について、西中学校は7月に実施されて、池尻小学校と西中学校は9月から実施される予定である。

木下教育長 13-1ページの総合教育センターの8月行事実施予定について、児童生徒が夏季休業中ということで、先生方の研修会を企画されていて、普段お話しを聞けないような講師の方も来ていただけることになっている。この案内はどのようにしているのか。

尾崎主幹 学校に対しては6月末に一覧表にして周知しており、ちょうど今締切りの時期である。

#### (7) 議案第51号の審議（日程第5）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第51号 伊丹市特別支援教育審議会委員の委嘱または任命について」を可決。

(8) 議案第52号の審議(日程第6)

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第52号 伊丹市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱または任命について」を可決。

(9) 議案第55号の審議(日程第7)

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第55号 平成29年度幼稚園管理職人事異動について」を可決。

(10) 閉会宣言

木下教育長(午後3時55分)

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子